

- vi 自治体立の特定機能病院、民間病院以外に、社会保険病院、日赤、労災病院、済生会病院。
- vii 大学付属病院と国立がんセンター、循環器センター。
- viii 先天性形態異常では大血管起始異常 Q200-2、大血管転位症 Q203、単心室 Q204、心内膜床欠損症 Q212,Q214、ファロー四徴症 Q213,Q218、肺動脈閉鎖 Q220、肺動脈狭窄 Q221,Q243,Q255-6、三尖弁閉鎖 Q224,Q228、エプスタイン奇形 Q225、大動脈弁奇形 Q230-1,Q244,Q252-3、僧房弁奇形 Q232-3,Q238,Q240,Q242、心室形成異常 Q234、(総)肺静脈還流異常症 Q226,Q251,Q262-4、その他の奇形 Q208,Q245-6,Q248-9,Q254,Q257,Q260-1,Q265-6,Q268-9 とした。
- ix 手術は5項目収集しており、組み合わせがあった場合、難易度の順に優先選択し、カテゴリ一化している。手術は診療報酬点数コード上のコードから、冠動脈形成術 K614-5、肺動脈絞扼 K545、心房中隔作成術 K549\$, 肺動脈(弁)形成 K580,K578、大動脈弁手術 K572-4、三尖弁閉鎖症手術 K562、Glenn 手術 K544、右室流出路形成 K570,K569\$,K576、ファロー四徴症手術 K589\$, 大血管起始異常手術 K584,K591\$,K592、心内膜床欠損症手術 K594\$, 肺静脈還流異常症手術 K583\$, 大動脈縮窄症手術 K609、複雑心奇形手術(Norwood、総動脈管手術、単心室手術) K590,K593,K594-2 とし、これ以外の手術は1つに集約した。
- x C(Comorbidity),C(Complication)と称する。更に Complication を併発症(入院後手術、処置と直接因果関係のない疾患)と続発症(入院後行われた手術・処置に直接因果関係のあるもの)とに区別することがある。今回併発症は深部静脈血栓症や肺梗塞としている。また手術処置関連続発症は各 MDC 毎に、T81\$-87\$から妥当なものを拾っている。
- xi 今回副傷病として、MD 指標,Charlson 指標を活用したのは、現行定義テーブルの副傷病が MDC 間(DPC 間ですら)整合性がなく、未整理のままであり、これを整理する目的もかねて前述副傷病をリストアップし、これに深部静脈血栓、肺塞栓を追加した。肝障害のところにも妥当と思われる ICD10 コードを MD 指標に追加している。悪性疾患の DPC においては、悪性新生物の MD 指標はカウントしなかった。
- xii ICD10 コードでは E102-8,E112-8,E122-8,E132-8,E142-8 と MD 指標では定義している。
- xiii E100,E110,E120,E130,E140,E101,E111,E121,E131,E141,E109,E119,E129,E139,E149
- xiv F00-F021,F03\$,G30\$-G311
- xv G81\$,G041,G820,822-3
- xvi J40,J41\$-47\$,J60-1,J62\$,J63-5,J66\$,J67\$, J961,J969
- xvii I270,I278-9
- xviii I70\$,I71\$,I72\$,I73,I771,R02
- xix N01\$,N03\$,N05\$,N07\$,N19,N25\$
- xx N18\$
- xxi M05-M06,M08-M09,M32\$-M34\$,M35\$
- xxii K700,K701,K709,K710,K713-716,K718,K719,,K721,K729,K73\$,K748,K760-761,K768-769
- xxiii I850,I859K702-704,K711,K712,K717,K720,K740-746,K762-767
- xxiv C00\$-C96\$,D890,Z85\$
- xxv I21\$,I22\$,I252
- xxvi I60\$-69\$,G45\$,G46\$
- xxvii K25\$-28\$
- xxviii A\$\$\$,B\$\$\$

xxix N17\$

xxx J960

xxxi I50\$

xxxii B150,B160,B162,B190,K720

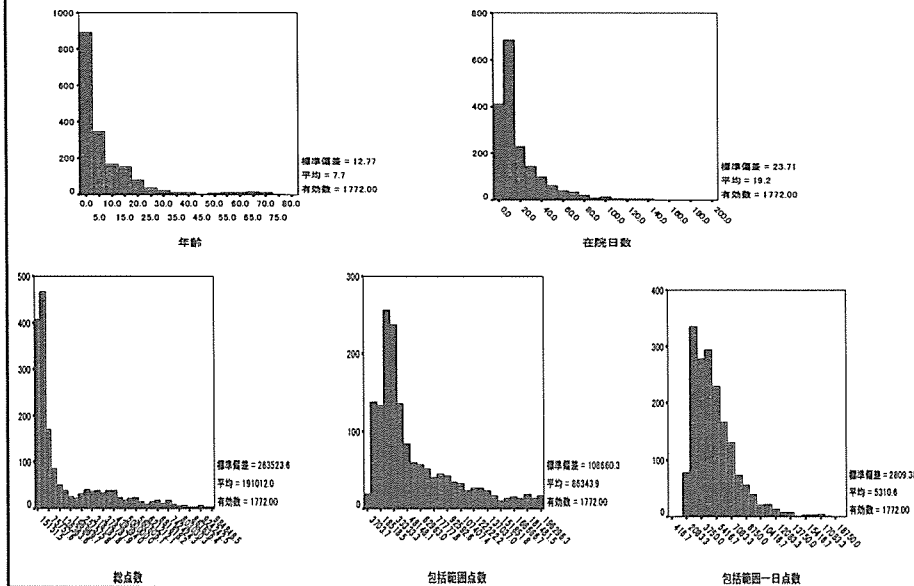
xxxiii D65

xxxiv I260,I269,I80\$

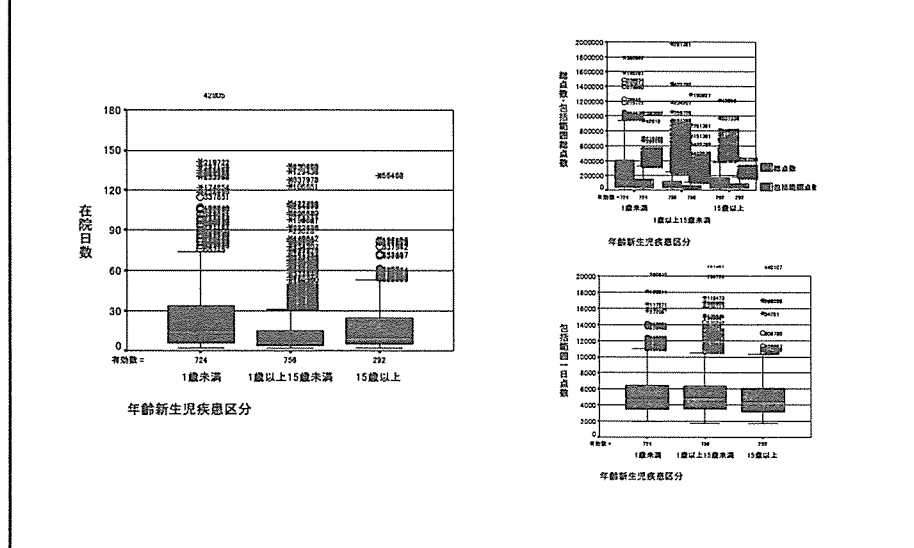
xxxv T81\$,87\$を手術関連続発症とした。創感染、出血、膿瘍形成、人工物挿入合併症などが該当する。

xxxvi 対照は年齢で 15 歳以上、女性、地域では関東、私立とした。先天性心奇形では『その他の奇形』、手術は『手術なし群』を対照とした。他因子は無群を対照とした。

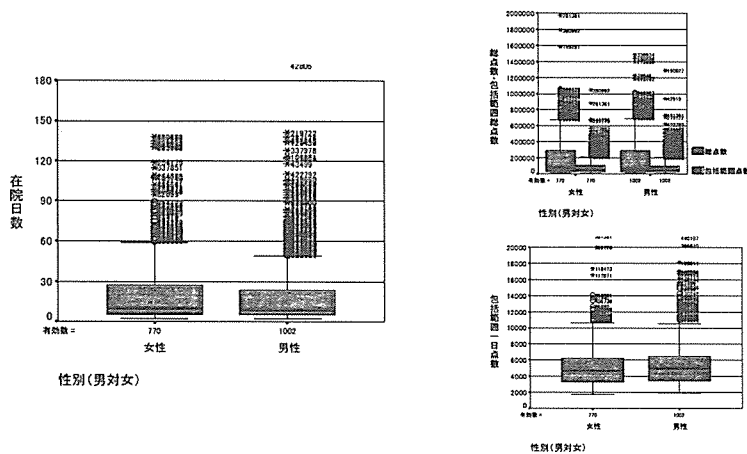
図A群



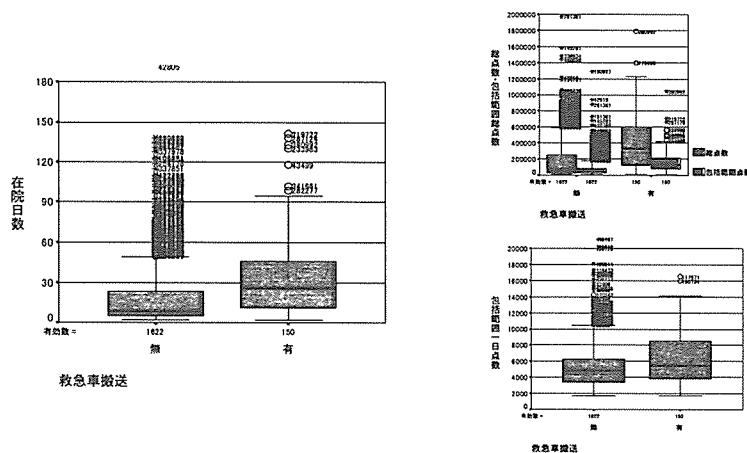
図B群(年齢)



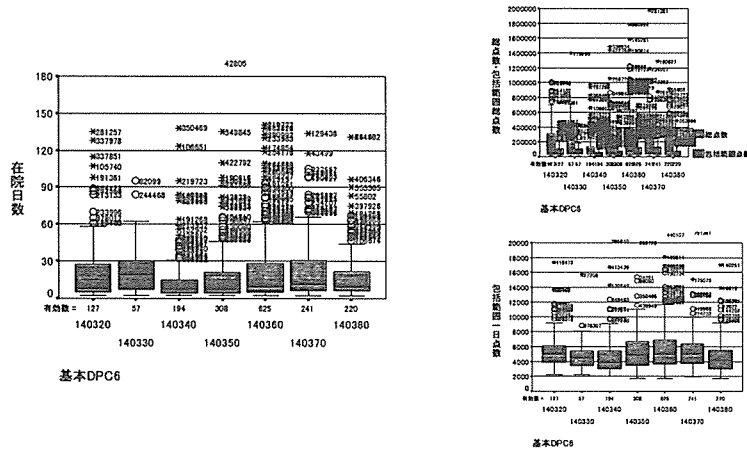
図B群(性別)



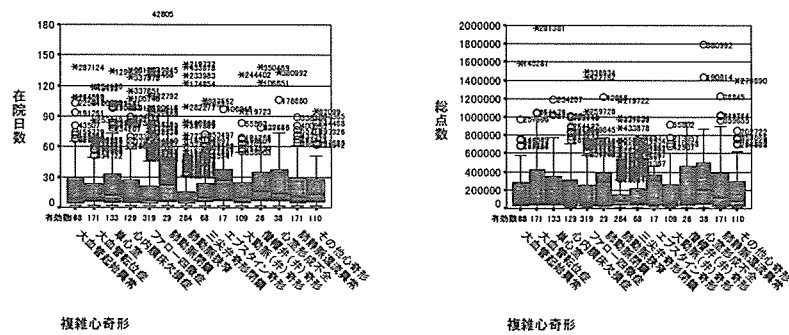
図B群(救急車搬送)



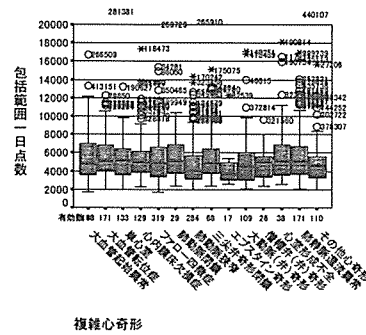
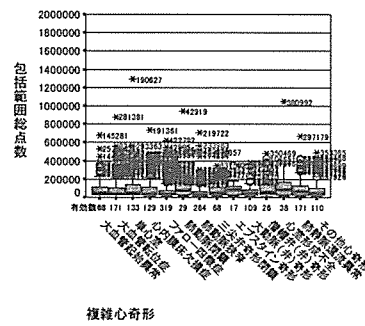
図B群(基本DPC別)



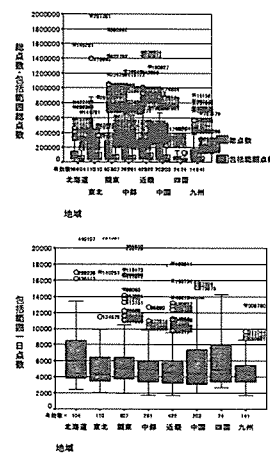
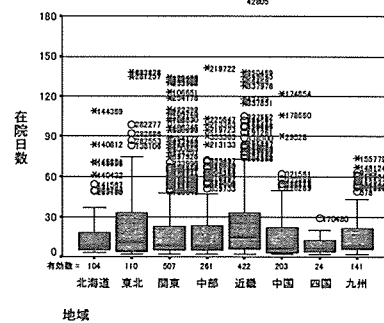
図B群(病態)



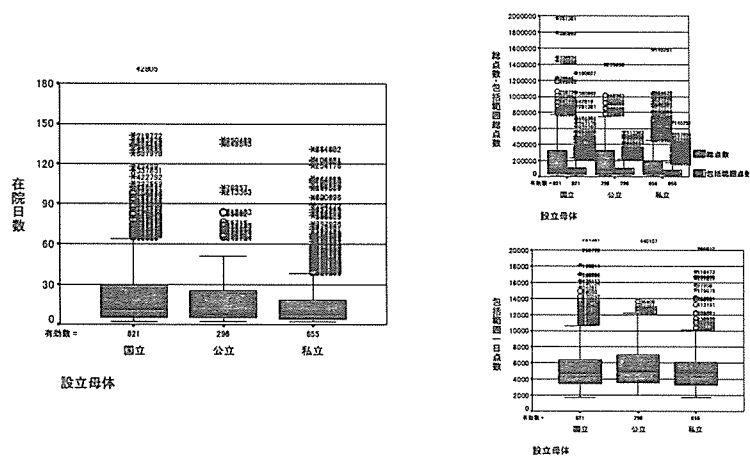
図B群(病態)



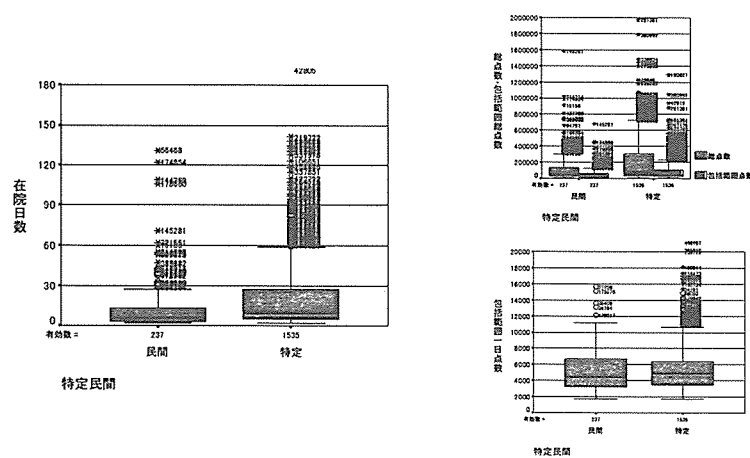
図B群(地域施設)



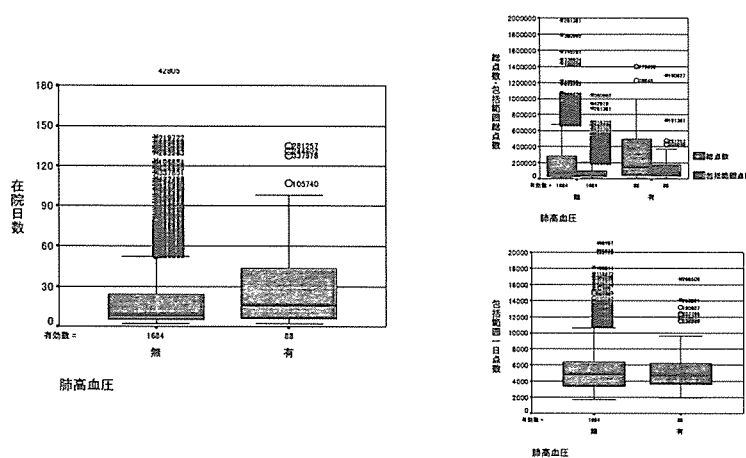
図B群(施設母体)



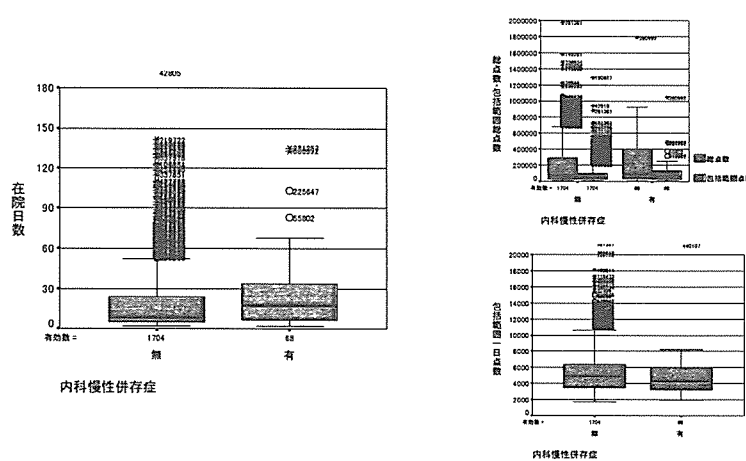
図B群(施設機能)



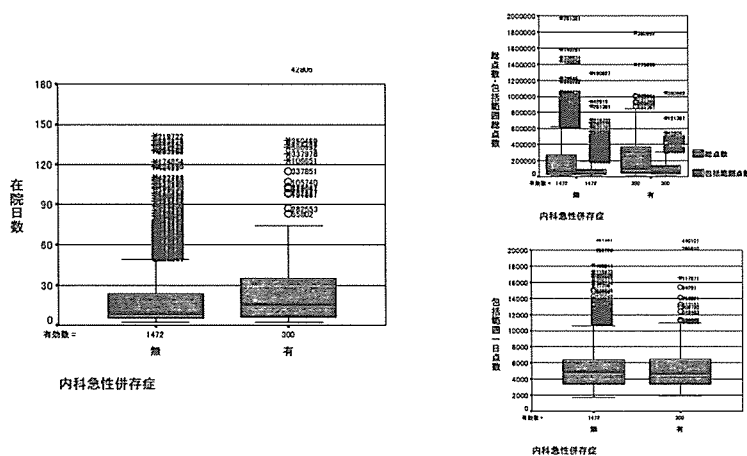
図B群(肺高血圧)



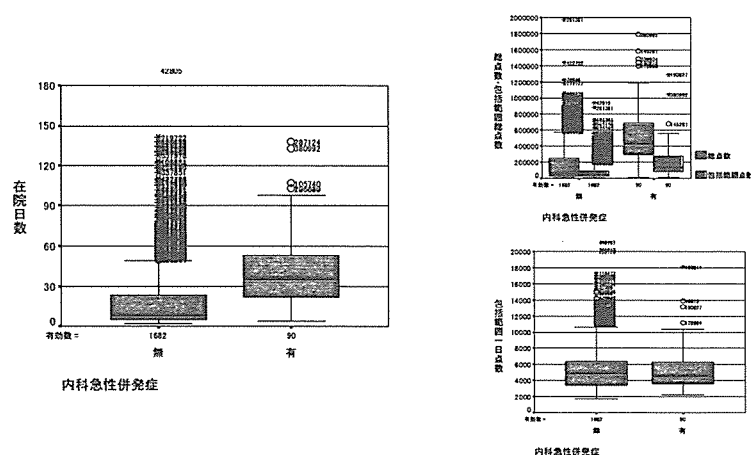
図B群(内科慢性併存症)



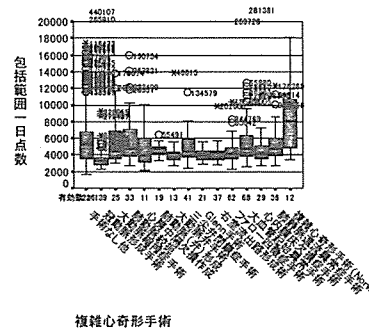
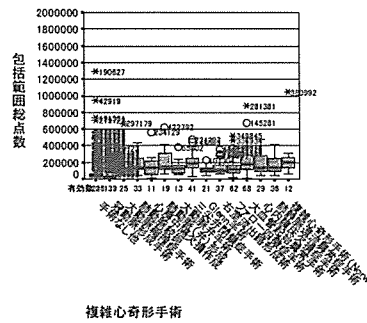
図B群(内科急性併存症)



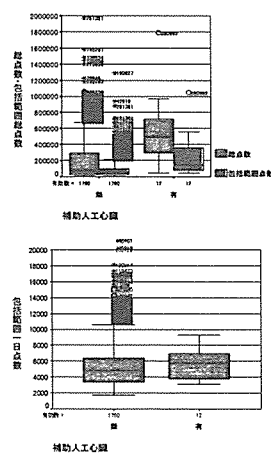
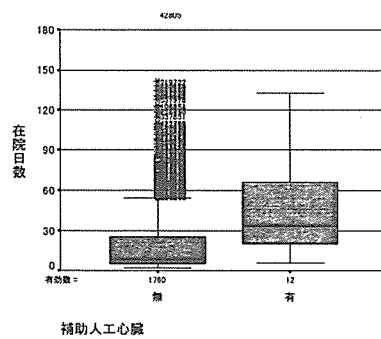
図B群(内科急性併発症)



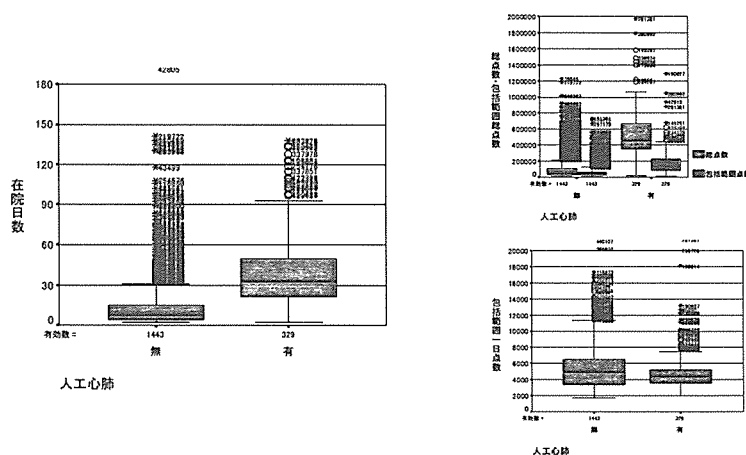
図B群(手術)



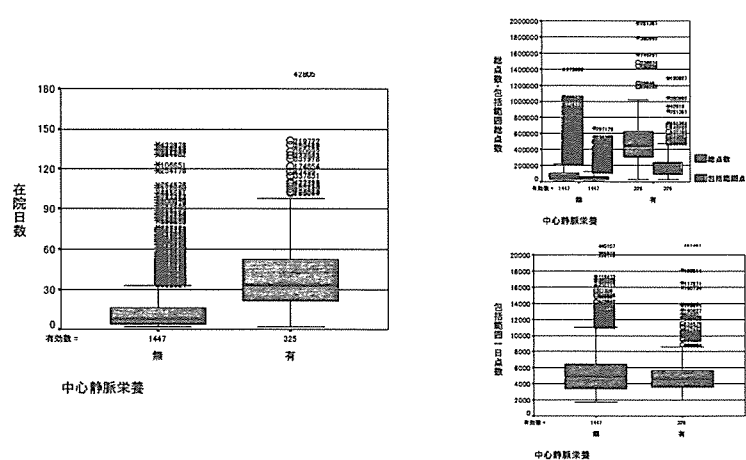
図B群(補助循環)



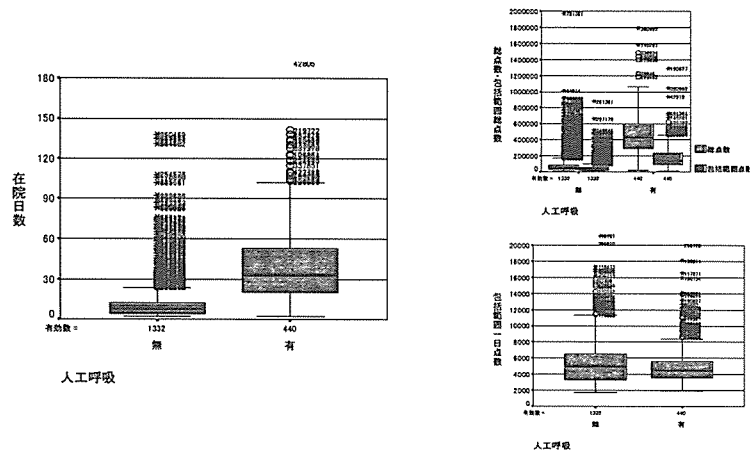
図B群(人工心肺)



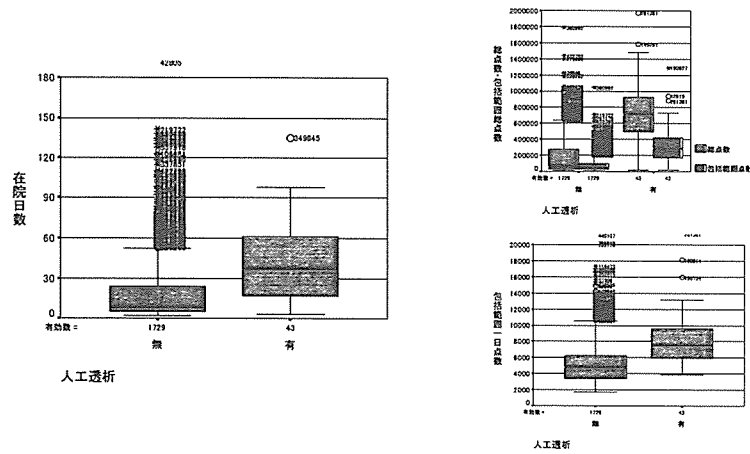
図B群(中心静脈)



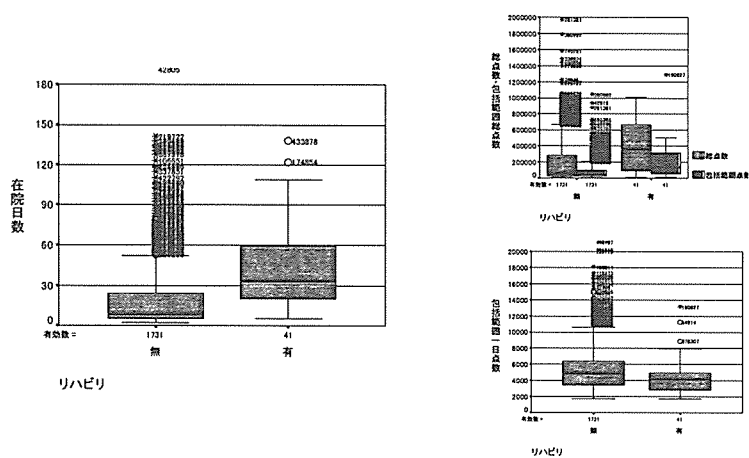
図B群(人工呼吸)



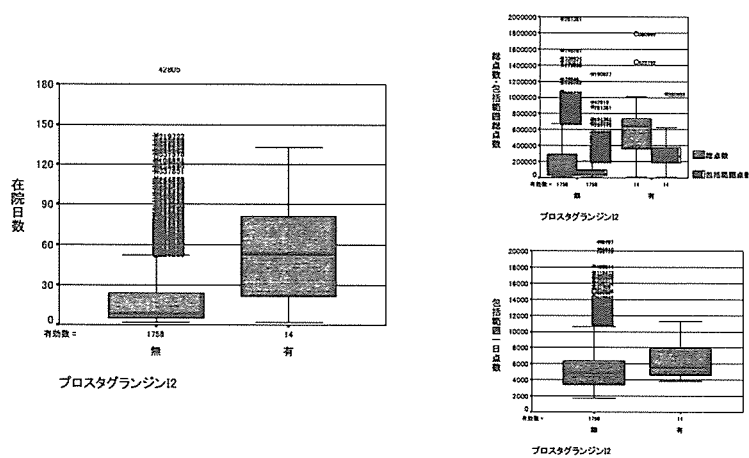
図B群(人工透析)



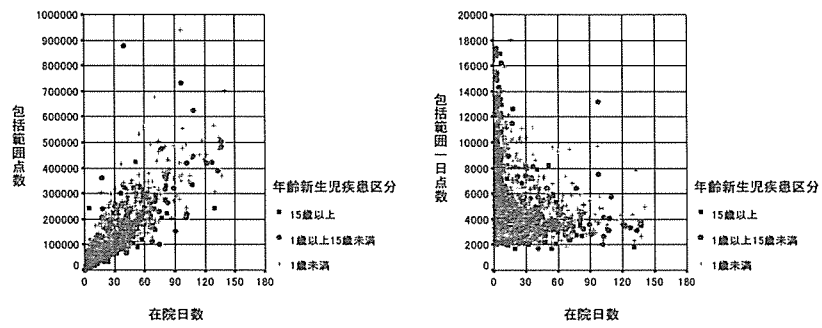
図B群(リハビリ)



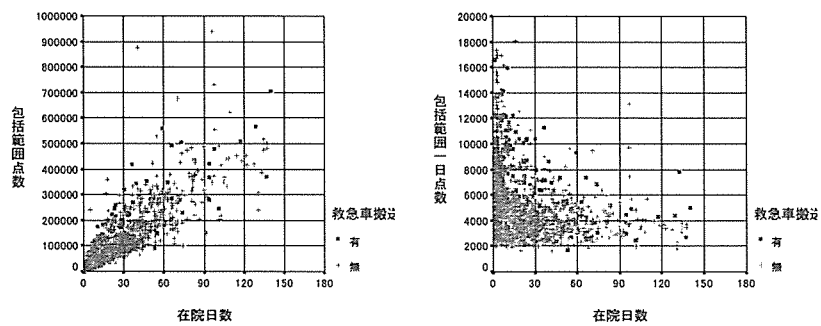
図B群(プロスタグランジンI2)



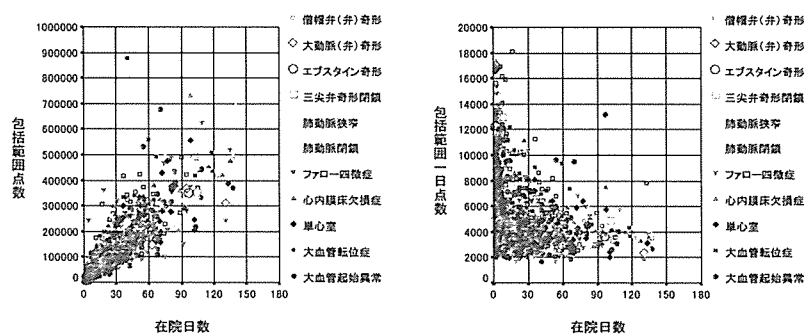
図B群(年齢)



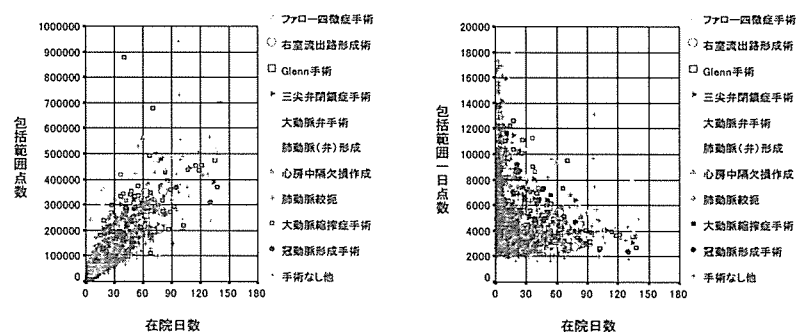
図B群(救急車搬送)



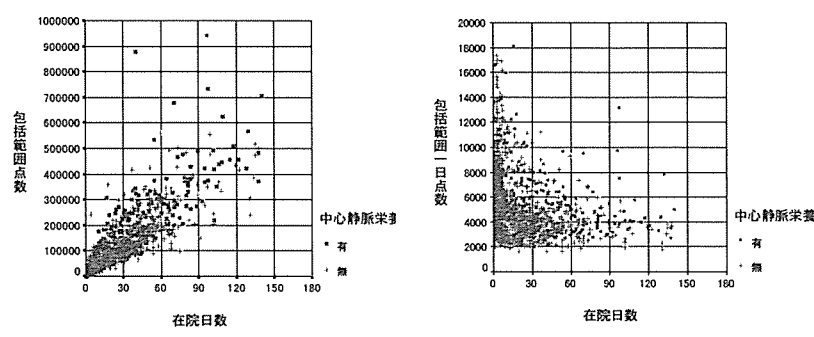
図B群(病態)



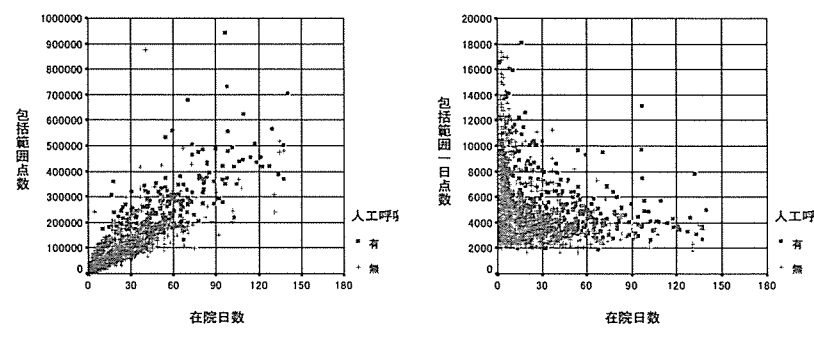
図B群(手術)



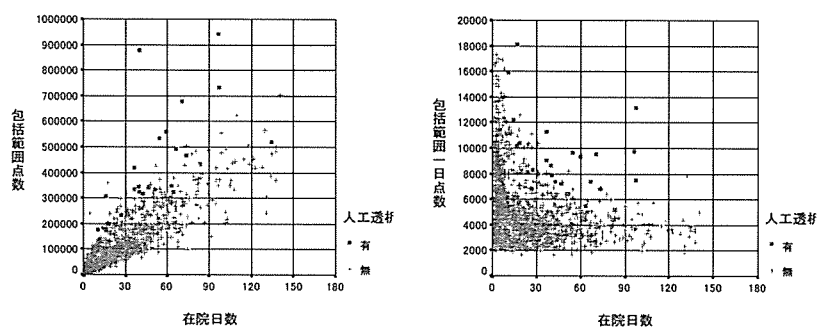
図B群(中心静脈)



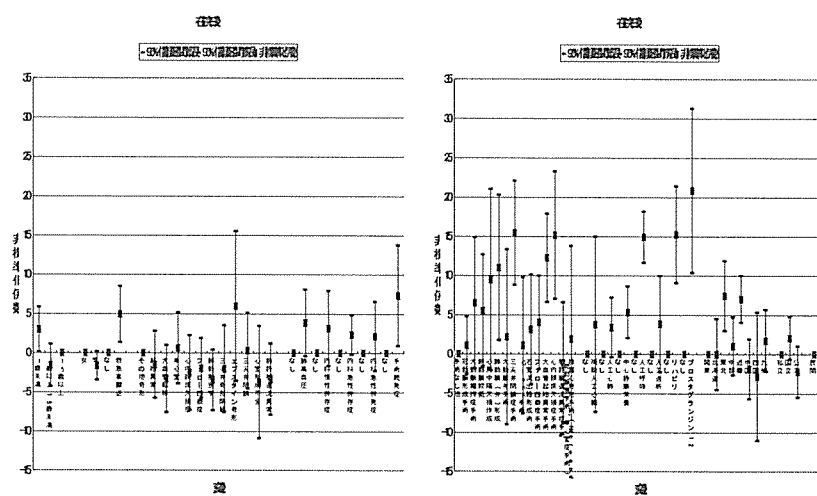
図B群(人工呼吸)



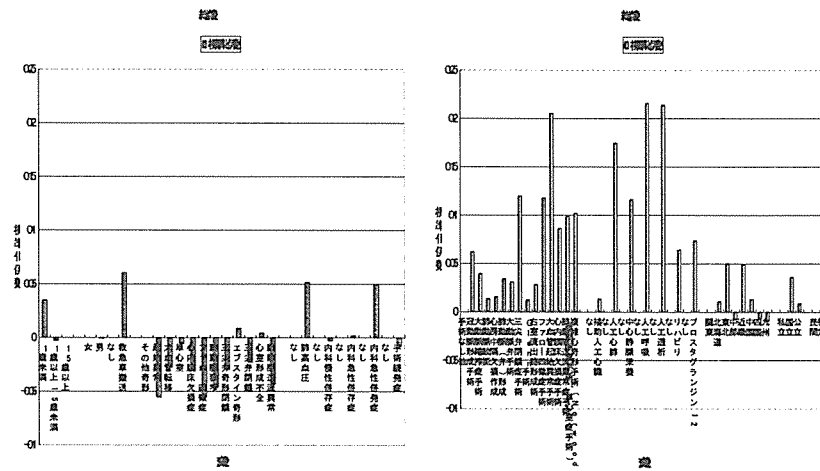
図B群(人工透析)



図C群(LOS分析)



図C群(cALL分析)



図C群(cDPC分析)

